

2014年6月16日(月) IAI日本 第1回セミナー

国内における CIMの取り組みについて

(一財)先端建設技術センター
技術調査部 兼 技術評価室
緒方 正剛 博士(工学)

アジェンダ

0. (一財)先端建設技術センターについて
1. CIMについて
2. 行政の動向
3. 先駆的な具体
4. CIM技術検討会 平成25年度報告から
 1. 先駆的な具体事例
 2. CIM試行事業
 3. 今後の方針と提案
5. (一財)先端建設技術センターでの取り組み

(一財)先端建設技術センターとは (www.actec.or.jp)

- 建設事業に係る先端的な技術に関する調査、研究、開発及び普及を図ることにより、国土基盤整備の推進を図り、国民生活の安定と向上に寄与する活動を目的として平成元年に設立された公益法人



CIMについて

CALSの15年を振り返り、新たなステージへ ～建設生産システムのイノベーションに向けて～

CIMのススメ

- ・ 建設産業の生産性を高めるためには、いわゆるCIMの活用が不可欠
- ・ コンピュータ上に作成した三次元モデルの建物に部材の数量やコストなどの属性情報を盛り込んだBIMを土木分野でも積極的に活用することが必要
- ・ ICTを核として施策・要素技術を統合するとともに、ICタグの活用や土木・建築の共通ライブラリーの整備が必要
- ・ 基準づくりから入るのではなく、まずはモデル工事を進めながら課題を解決していくことが重要



CIMのキックオフとしての提言

- ・ 実際の建設現場で、三次元モデル等のICTを総動員してモデル工事を実施
- ・ 維持管理からの発想でデータを流通
- ・ 技術者一人一人が意識改革をして、ICTを前向きに使っていく